

平成18年度外部評価の反映状況

	事業名	所管課	H18所管課の評価	H18 外部 評価 員 意見	H18外部評価	H18当初予算(千円)	H19当初予算(千円)	H19への外部評価員意見の反映	H19所管課評価
1	高齢者が生きやすい事業	高齢者福祉課	現状継続	市民意見や他自治体の実態を調査する中で、本事業を将来的にどうするか考えていく計画があるのに、今後の方向性を「現状継続」としては、事業の方向性が正確に市民に伝わらない。Action(改善)欄に見直しの具体的内容を記載すべきである。よって、今後の方向性は「効率化継続」が妥当である。	効率化継続	56,535	51,593	H19評価の改善欄に「今後の給付について、市民に意見を聞く事業」として次の事業を載せている。 ・ダイヤモンド婚金婚式 ・徘徊高齢者家族支援サービス事業 ・利用美容利用券給付事業 ・寝具クリーニング利用券給付事業 ・おむつ購入給付事業 ・高齢者路線バス電車利用料金助成事業 ・家族介護者慰労金支給事業	効率化継続
2	労働対策事業	工業課	現状継続	雇用促進に力を入れている現状から、本事業は縮小してきており、賃金実態調査が主要な業務となっている。現状は細事業の目的と合致しておらず、今後も力を入れないのであれば、賃金実態調査を他の事業に統合し、今後の方向性は「統合・終了」が妥当である。	統合・終了	73	0	県と合同で実施している長野県賃金実態調査が主な事業であり、勤労者福祉事業に統合して実施することとした。	統合・終了
3	生涯スポーツ事業	生涯学習体育課	現状継続	目指そう値の内容が細事業の目的にそぐわない。スポーツ教室等への参加者の声のみを聴いているから、日頃スポーツを行っていない市民がどうしてスポーツに親しめないのかが把握できていない。もっと細かく市民意識調査を実施して、市民誰もがスポーツに親しむ環境づくりに何が必要なかを検討すべきである。そのために、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	31,572	29,879	H18の目指そう値が「学校体育施設(体育館)利用率」の設定だったが、「日頃からスポーツを行っている市民の割合」に変更した。 H19評価の改善欄を「生涯にわたってスポーツに親しんでもらうきっかけをつくるため、市民スポーツ教室を開催しており、その参加料について検討の余地がある。」としている。	現状継続
4	健全育成推進事業	子ども課	現状継続	子育てセミナー等、なかなか効果の上まらない業務は、今までのやり方を抜本的に見直すべきである。そのために、父母、祖父母、地域住民、子ども達等が、本当に必要としているものを、自らの手で作り上げられるような「仕組み」を用意すれば、効率的に効果が上がるのではないかと。抜本的な見直しには、当事者の話を良く聞く等の手間や、費用も必要だが、未来への投資という意味も込めて、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	9,616	14,680	H19評価の改善欄を「H19は、講演会が中心だった保育園子育てセミナーの手法を変更し、グループセミナーによる子育てトークンとした。」としている。 予算増は、社会教育総務費にあった嘱託職員報酬、共済費を当事業で手当てしたため。	拡大継続
5	児童青少年センター事業	子ども課	現状継続	児童青少年の非行の未然防止や健全な育成には、地域住民の関心が高く、協力も得やすい。教育委員会は、何が何でも少年非行検挙件数の削減を達成するという強い姿勢で、保護者、児童・生徒、地域社会を支えて欲しい。よって今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	2,342	1,853	H19評価の改善欄を「育成委員の資質向上に向けての研修等を行い、行政主導型から市民主導型に変えていく。」としている。 (主な予算減は、旅費費用弁償458千円減：2年に一度の育成委員さんの県外視察費用)	現状継続
6	環境対策事業	生活環境課	現状継続	目指そう値の内容は、この事業と合致していない。この事業にふさわしい目指そう値を設定して欲しい。事業の内容は、公害防止に有効であり、効率性も悪くないことから、今後の方向性は担当課の判断と同じく「現状継続」が妥当である。	現状継続	2,630	2,755	H18の目指そう値が「クリーン作戦の参加者数」だったが、「公害苦情処理件数」に変更した。	現状継続
7	街路整備事業	道路河川課	現状継続	都市計画道路の整備は、計画作成から地元への説明、都市計画審議会での審議、用地交渉等を経る必要があり、非常に時間がかかることである。また、このために年度毎の実績に大きな差が生じてしまうのも、ある程度仕方が無いと思われる。よって短期間での評価は難しい事業であるが、現状でも計画の見直しを検討しており、社会情勢に柔軟に対応しようとしていることから、今後の方向性は担当課の評価と同じく「現状継続」が妥当である。	現状継続	97,073 (補助・起債・単独・負担金合算)	148,060 (補助・単独・負担金合算)	評価が同一の「現状継続」。	現状継続
8	グリーンツーリズム推進事業	農林課	現状継続	グリーンツーリズムは農業の活性化にとどまらず、地域の活性化にもつながる、大きな可能性のある事業である。取組むのであれば、中途半端な形だけの取り組みにするのではなく、何が何でも成功させるという意気込みが必要である。よって、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	3,908 (産地ブランド推進事業)	3,913 (産地ブランド推進事業)	H18.11月にグリーンツーリズム研究会を立上げ、実践的研究に着手し、H19は、研究会ホームページを開設した。 H19評価の改善欄を「観光協会等との連携を図る。」としている。	拡大継続

	事業名	所管課	H18所管課の評価	H18 外部 評価 員 意見	H18外部評価	H18当初予算(千円)	H19当初予算(千円)	H19への外部評価員意見の反映	H19所管課評価
9	農業後継者対策事業	農林課	現状継続	農業後継者対策は緊急の課題であり、団塊の世代のトーン等も視野に入れた事業展開など、これまで対象としていた農業後継者の枠にとらわれなくても良いのではないかと。また、遊休農地の課題も合わせて考えて欲しい。よって、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	977	1,017	H18に引き続き、農業委員会と連携し、市民農業大学校野菜学部と専門学部を設置運営する（土作りを加える）。H18においては、卒業生2名が農地を賃貸借し、新規就農者となった。	現状継続
10	男女共同参画体制整備事業	男女共同参画課	現状継続	「集会、学習会への参加者が固定化し、本当に必要としている人が参加していない」「市民の声を聴き、対応する事が十分ではない」「男女共同参画を正しく理解していない市民が、男女共に存在する」といった状況から、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	1,183 (男女共同参画社会づくり事業)	1,343 (男女共同参画社会づくり事業)	広く市民の意見を聞く、参加してほしい方に参加していただく工夫として、H19はすざか男女共同参画計画第三次策定のため、市民意識調査を実施したほか、昨年度から実施している地域学習会を2町で行い、この参加者も含め約700名の方からの回答を分析に活用することができた。地域学習会は、町と共催するため、男性の参加者が多く約半数を占めた。また、男女共同参画次世代セミナーを須坂東高校で実施予定。	拡大継続
11	市民支援事業	市民課	現状継続	市民支援事業を、市役所全体の取り組みとして位置づけ、職員に対して将来に向けた人材育成を実行している。同様に、市民に対してもボランティアの育成等に取り組み、協働のまちづくりを、さらに推進していくべきである。よって今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	44,497	49,596	H19評価の改善欄を「24課26名の協働のまち推進員の意識醸成を図る。」としている。 H19から公益的ボランティアに参加、参画を希望する市民を事前登録し、必要により登録情報を提供する事業を実施している。	拡大継続